

「手帳は高橋」イメージキャラクター上白石萌音さんの スペシャルインタビューを特設サイトで公開！ 「今書くことが一生の思い出になる」 2021年8月31日(火)OPEN -同時に高橋書店Webサイトも大幅リニューアル-

手帳や生活実用書、児童書などを発行している株式会社高橋書店(本社:東京都豊島区 代表取締役:高橋秀雄)は、8月13日(金)に、2022年版「手帳は高橋」のイメージキャラクターへ女優の上白石萌音さんを起用すると発表。SNS上で「自分の未来や希望を手書きで記すことの大切さに気付かされました」「萌音ちゃんにピッタリのキャラクター起用!」「萌音ちゃんを持っている手帳はどの商品か教えてもらえますか?」など、様々な反響をいただき上白石さんへの注目度の高さが伺えます。

この度、特設サイト「上白石萌音スペシャルインタビュー」を2021年8月31日(火)より公開しました。

手帳を初めて手にしたときの思い出から、手書きの楽しさなど、手帳を愛用する上白石萌音さんに、たっぷり語っていただいた動画コンテンツです。

<https://www.takahashishoten.co.jp/special/2022cm/>

また、同時に高橋書店のWebサイトを大幅リニューアル。9月から発売の2022年版1月始まり商品の公開とともに、手帳・日記の検索機能をパワーアップ。294種類の中から、手帳ユーザーはもちろん、手帳の使い方が分からない初心者の方も、自分にあった手帳を簡単に探せるようになりました。

<https://www.takahashishoten.co.jp/>

今後、上白石さんとはTVCMほか10月に行われる「手帳大賞」の受賞イベントなど様々な展開を予定しております。



① 特設サイト OPEN「上白石萌音 スペシャルインタビュー」

今書くことが、一生の思い出になる-上白石萌音さんが手帳をおすすめする理由-

2022年版「手帳は高橋」のイメージキャラクターに就任した上白石萌音さん。

お休みの日はごはんを作ったり、本を読んだり、映画を観たり、一日中ソファで過ごすことが多いとか。

そんな彼女のもうひとつの習慣は、気になる言葉や好きな言葉を見つけたら、すぐに手帳に書き留めること。

デジタル時代にあえて手書きすることの魅力や、手帳活用方法などをお訊きました。



母の真似をして、手帳を書くようになりました。

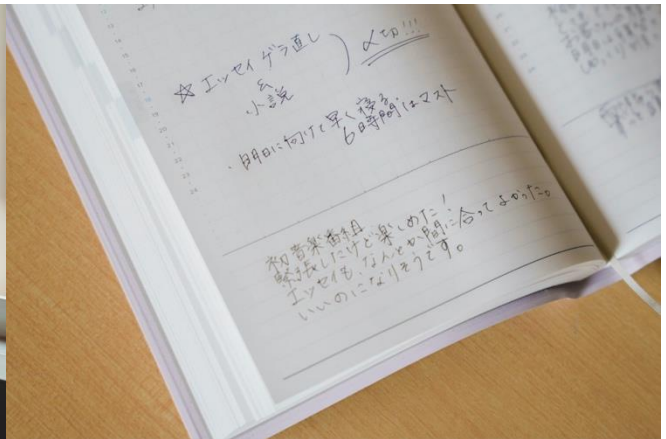
母がよく手帳を使う人で、私も真似をして買ってもらったことをよく覚えています。

それからは、何かあれば手帳に書き込むことが習慣になりました。

デジタル化というか手帳からちょっと離れていた時期があったんです。でも、最近になってまた手書きに戻すようになって、改めて自分の手で書いて整理して、ちゃんと残すことが大切だなんて感じています。初心に返った気持ちで、今は手帳を書く時間を大事にしています。

その他のインタビュー項目

- スケジュール以外に書いていることは？
- デジタル時代だからこそその魅力
- 手書きの文字には、生きている実感が宿る
- 上白石萌音さんにとっての未来とは？
- 「今書くことが一生の思い出になる」



② Web サイトを大幅リニューアル！「手帳をさがす」3つの機能が登場

上白石さんのように自分にあった「手帳」を探しませんか？ ①手帳経験者向けの「かんたん検索」、②手帳初心者向けの「おすすめ検索」、③好みがはっきり決まっている方向けの「こだわり検索」の3つの方法から手帳を検索する機能を追加。全 294 種類から自分にあった手帳が簡単に見つけられるようになりました。



上白石さんの各コンテンツで持っている手帳をご紹介します。

- ◆KV : No.507 ミアクレール 2
- ◆torinco ビジュアル : No.581 torinco7
- ◆インタビュー動画 : No.552 torinco 1



■上白石萌音（カミシライシ モネ）プロフィール



1998年1月27日鹿児島県出身

11年、大河ドラマ『江〜姫たちの戦国〜』でデビュー。

主な出演作として、映画『舞妓はレディ』『君の名は。』『羊と鋼の森』、ドラマ『恋はつづくよどこまでも』

『オー！マイ・ボス！恋は別冊で』、舞台『ナイツ・テイル-騎士物語-』など。

21年は後期連続テレビ小説『カムカムエヴリバディ』への主演出演や、初の書き下ろしエッセイ集「いろいろ」を刊行予定。歌手としても活動している。

【一般のお客様のお問い合わせ】

株式会社 高橋書店 広告・広報部 TEL : 03-5957-7061 FAX : 03-5957-7079

〒170-6014 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 14F

Email : k_koukoku@takahashishoten.co.jp